

市民参加実施結果シート

結果 (途中・~~終了~~)
 平成31年4月1日時点

担当課(コミュニティ課)

2 市民参加の手續 実施結果について

通称	八木南第1コミュニティ・ホームの廃止について	市が考える 市民等への影響	メリット ・公共施設等総合管理計画に合わせた公共施設の統廃合ができる。
名称	流山市コミュニティ・ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正について		(デメリット ・特になし。
概要	第1コミュニティ・ホームを含む3コミュニティ・ホームは、八木南地区モデルコミュニティ事業として昭和46年に自治省のモデルコミュニティとして整備された施設であるが、建築後約40年が経過しており、老朽化が進み、市民に提供する環境が十分とはいえない状況にある。そこで、コミュニティ・ホームの今後の方向性について、平成26年9月より、各コミュニティ・ホームの利用者等で組織される八木南地区コミュニティ・ホーム対策委員会と協議の結果、第1コミュニティ・ホームを平成31年3月に廃止するものである。		
市民参加の実施結果を踏まえた担当課の意見			

(1) 市民参加の実施内容

市民参加の方法を選択した理由・実施時期(流れ)を選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント...市民が利用する公共施設の一部を廃止するため、幅広い市民から意見を聴取する必要があるため、場所や時間を拘束されないパブリックコメントを選択した。 ・意見交換会...第1コミュニティ・ホームを利用する市民等で構成される運営委員会との意見交換を行うにより、建設的な意見交換会を実施することができるため。 ・その他(八木南地区コミュニティ・ホーム対策委員会との意見交換会) <p>第1コミュニティ・ホームを含む3コミュニティ・ホームの今後の方向性について、建設的な協議を行うため、実際に施設を利用している諸団体、地域の代表からなる各コミュニティ・ホーム運営委員会の代表からなる八木南地区コミュニティ・ホーム対策委員会と意見交換会を実施した。</p>
--------------------------------	---

市民参加の手法	開催告知日	募集期間	受付方法	開催日等	人数等	人数構成内訳	結果の公表	市民参加手續実施後の検証	意見の反映	工夫したこと	その他特記事項
八木南地区コミュニティ・ホーム対策委員会との意見交換会	-	-	-	平成26年(6回協議) 9月19日(2回) 10月3日 10月12日 11月19日 3月5日(会長) 平成27年(7回協議) 7月2日 9月4日 11月16日 12月10日(施設見学会) 1月18日 2月25日 3月15日 平成28年(6回協議) 5月25日 6月24日 7月19日(会長) 9月13日 9月29日 11月4日 平成29(2回協議) 4月25日 8月7日 1月31日 平成30(1回協議) 8月23日	平成26年(6回協議) 各5名 8名 30名 10名 3名 平成27年(7回協議) 14名 6名 5名 15名 7名 12名 10名 平成28年(6回協議) 11名 7名 3名 9名 8名 8名 平成29年(2回協議) 9名 9名 7名 平成30年(1回協議) 5名	平成26年 各コミュニティ・ホーム運営委員会役員(運営役員、利用者、地域の代表からなる組織) 平成27年以降 八木南地区コミュニティ・ホーム対策委員会(運営委員会役員からの構成) 8名	-		意見を反映した(案を修正した) 案を修正しなかった その他	建設的な意見交換会を実施するために市が案を提示し、合意形成を得るまで意見交換会を実施した。	
パブリックコメント	9月1日	9月2日～年10月1日	持ち込み 郵送 FAX 電子メール	-	意見数 4件4名 【男性2名女性2名】	-	<HP> 11月2日～		意見を反映した(案を修正した) 案を修正しなかった その他	通常のパブリックコメント設置箇所以外に、コミュニティ・ホームにも設置した。	
意見交換会(全市民)	9月1日	-	-	9月21日 18:30～20:00 9月22日 10:00～11:30	参加者数 0名	-		参加しやすいように、平日夜及び休日開催にしたが、地元での説明会を開催しているせいか、参加者は人であった。	意見を反映した(案を修正した) 案を修正しなかった その他		
近隣所元説明会	6月29日	-	-	7月14日 10:00～12:00	22名	・第1コミュニティ・ホーム運営委員会 ・野々下第1自治会 ・市野谷自治会 ・コミュニティ・ホーム利用者		説明会開催場所をコミュニティ・ホームにしたことからより多くの人に参加していただくことができた。	意見を反映した(案を修正した) 案を修正しなかった その他	廃止後の運営委員会の在り方や利用者の今後についての意見があったため、今後、対策委員会にて諮ることとした。	

